

船舶事故調査報告書

令和元年6月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成30年12月28日 02時30分ごろ
発生場所	宮崎県日南市外浦港東方沖 外浦港防波堤灯台から真方位137° 1,330m付近 (概位 北緯31° 30.3′ 東経131° 23.3′)
事故の概要	漁船たこまる THE 3 は、錨泊中、走錨して定置網に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成31年1月8日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 たこまる THE 3、7.9トン
船舶番号、船舶所有者等	MZ2-20066（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	なし
損傷	本船 プロペラ翼に曲損 定置網 囲い網に破損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 6、視界 良好 海象：波高 約1m、潮汐 下げ潮の末期 日南・串間地区には、12月26日04時10分に強風注意報が発表され、本事故当時も継続中であった。
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、水深約8mの場所で船首から四爪錨を投入し、錨索を約20m伸出して錨泊後、船長が、約5時間GPSプロッターの画面で自船の位置を確認していたが、波が穏やかで風もそれほど吹いていないので、同プロッターの偏位アラームを設定して休息していたところ、同アラームが鳴り、走錨して定置網に近づいたので、揚錨して移動しようとしたものの、同網に乗り揚げた。 船長は、付近に定置網が設置されていることを知っていた。
分析	本船は、強風注意報が発表されている状況下、定置網付近で錨泊したことから、走錨して定置網に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、強風注意報が発表されている状況下、定置網付近で錨泊したため、走錨して定置網に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・錨泊する際は、風向などを考慮し、定置網等から十分に離れた海域を選ぶこと。